

桑名入協

令和6年3月15日

第55号

桑名市文化協会
桑名市中央町2丁目37
TEL 24-1361
<https://bunkyo-kuwana.jp>

新春六華苑祭

キッズダンス

芸能Ⅲ部門 伊藤好子

(伊藤好子&ダンシングステップ)

初春を寿ぐ「新春六華苑祭」が一月十三日・十四日の二日間、盛大に開催されました。



伊勢大橋から桜並木、多度の山々、七里の渡しを近くに見ながら門をくぐると、静寂な中にも荘厳なたたずまい、庭園の木々、建物、重要文化財である六華苑での初舞を誇りに楽しみにしてきました。



合唱して頂き踊りました。

挨拶で「アイドル」の曲が流れはじめたら子どもさんの表情が笑顔になりました。「いっしょに踊ろう」と声掛けすると皆元気に個性豊かに踊ってくれました。(昨年運動会のダンス曲だったようです)次世代に六華苑を身近に感じてもらえるよう伝える努力をしたいと思えます。

桑名市の文化を代表する素晴らしい企画が新春を知らせる祭典になることを願っています。

新春を雅びて

優雅な空間に『日本の美』を添えて

芸能Ⅰ部門 藤間啓萃
(日本舞踊 藤間流啓萃会)

快く晴れ上がった冬日和。オカリナ・和楽器の雅やかな音色と艶やかな装いに包まれた『新春六華苑祭』の和館。

板廊下には暖かな日差しが降り注ぎ、障子越しに眺める内庭の光景。格式を感じるこの室内で踊らせていただける事は、まさに至福のひとつ。柔らかな手の動き、優雅な身のこなしや表現力など日本舞踊の魅力を間近でご覧いただけます。有り難い機会でもありません。

新春のお慶びと共に、皆様にとりまして健やかで幸多き一年になります事を祈願し、格調高く典雅な雰囲気舞踊『長唄鶴亀』を私は踊らせていただきました。

また、昨年入門したばかりの小二、中一、六十歳の三名も出演。年齢問わず始められる日本舞踊、きつかけや目的も様々。個人指導にて、日本舞踊の基礎から丁寧に教えます。楽しみながら出演に向けてお稽古に励みました。更に本

番一カ月前から一気にスイッチが入り、私の予想を遥かに超える上達ぶりを見せ、本番ではお稽古の成果を存分に発揮。表現力豊かに、堂々たる姿で初お披露目を務め上げてくれました。

ご観覧の皆様からも温かい拍手を沢山いただきました事は大変喜ばしく、更なる成長に繋がると思っています。また踊り終えた直後、私に浮かべてくれた安堵の表情と満悦らしい微笑みは、私にとりまして至高の幸せに包まれた瞬間でもありました。

『日本の美』が広がり舞い踊る美しさを表現できる日本舞踊で、今後とも新春六華苑祭に彩りが添えられますよう、努めて参りたく存じます。



桑名市民芸術文化祭を終えて

くわコレ。23

趣味教養部門 後藤智子

(日進編物教室)

令和五年十二月二、三日と展示会を催しました。コロナ対策コーナーをなくし、受付入り口付近には手作りのクリスマスグッズ作り、干支の編みぐるみなどを並べ、できるだけぎやかで楽しいもの



にしたいという思いを込めて、お迎えいたしました。ご来場の皆様も手にとってご覧いただきうれしく思いました。

体験会では毛糸の指編みからはじめて、干支の辰のリースを形に作り、それにパーツをつけ、装飾して仕上げます。工程はたくさんあります。大人の方とはもかく子ども達は大丈夫かな…。実際には親子での参加が多く、一生懸命子ども達が取り組んでいるのをそばで見ている親御さんの視線は、ほのぼのとしてあたたかく、私達にとっても大変やりがいがありました。

昨今、ニットの装いはテレビでもよく見られ、どんどんグレードアップされています。大胆な着こなしに目をうばわれる事もありますし楽しい気分にもなります。しかし自分で編むまでにはなかなか難しいのが現状の様です。それでも教室の皆さんと共に熱心に編物に取り組み、こうやって一年の成果をステキな会場で展示できる事、誇らし気であり励みにもなります。

私達は来年度のくわコレ24に向かってすでに動き出しています。

ダンスアートフェスティバル

心の言葉「フラ」

芸能Ⅲ部門 近藤美詠子

(ラプリーフラ)

令和5年11月26日に柿安シティホールにて、スタジオオリラ、金田枝里香バレエ教室の方々と共に出演させて頂きました。

私たちラプリーフラは、コロナ禍もあり大きな舞台で踊るのは、約5年ぶり、そして、子ども達は初めての舞台でした。緊張の中、ハプニングも少しありましたが、素晴らしい音響や照明の下、全員が無事終える事ができました。このような機会を与えて頂き、感謝しております。

ラプリーフラは、光精工コミュニティプラザ、ぼかぼか、スター21などで、子どもからシニアまで、楽しくレッスンをしております。

ハワイアン音楽には、リラックス効果があります。そして、その曲の内容の意味を理解し心から表現して踊るのがフラです。手の動きには、風や雨、お花、虹、波など様々な意味があります。自分がその物語の主人公になり、非現実的な世界を体感できます。もし次、フラを見る機会がありましたら、その事を思いながら見てみて下さい。もつともつと楽しめると思います。さらに、ご興味のある方は、是非、ご自分でフラを体験してみして下さい。

私たちは、これからも、ハワイの伝統的で神聖な踊り、フラを桑名の皆様に少しでも知って頂けるよう励んでまいります。今後、どうぞよろしくお願い致します。



お茶会

〃めぐり逢い〃に感謝して

茶華香道部門 水谷陽子

(煎茶松風流)

新年を迎える事が出来ました。自然災害も多く、世情も不安定な令和五年でございましたが無事に越年できましたことに感謝でございます。

令和五年十一月三日の桑名市民芸術文化祭の茶席担当をさせていただきました。私共煎茶松風流の大事業でございました。

煎茶松風流といたしましては、令和元年九月の月釜担当以来でございますし、時節柄約束事も多い中での進行でございましたので不安もひとしおでございました。

先達の文人も楽しまれた煎茶道「和敬静雅」を想い席造りをいたしました。

六華苑の素晴らしいたずまいと美しいお庭の力をおかりして和やかに進行することが出来ました。

ご来席くださいました方々からたくさん温かい励ましのお言葉をいただきました。うれしいことございました。

〃めぐり逢いの不思議に掌を合わせ〃という教えのとおりなつかしい、又新しい出会いをいただいで



社中一同感謝でございます。今年のお題が「和」でございますが日本文化の茶の道を楽しみながら和やかにすごせる一年でありますよう念じます。

第70回 桑名市民展を振り返って

美術部門理事 野口恵子

(彫創会)

第七十回目の桑名市民展を終えて思うことは、長きにわたり開催されてきた市民展も、それぞれの時代と共に御苦労も多々あった事と想像し、感謝の念に堪えませ

ん。コロナが五類に移行された事もあり、昨年度に比べ出品点数、また御来場者の人数も増え沢山の皆様に足を運んで鑑賞して頂けたこと、大変嬉しく思いました。

各部門の出品者の方々におかれましては長い時間をかけ丁寧に制作され、思いのこもった力作ばかりで見ごたえのある展示会場になったのではないかと思います。

美術工芸部門に関しては、今回大変大きな作品が多く、会場を華やかに飾ることができた反面、会場の面積と作品群の大きさで展示に御苦労されている姿に頭の下がる思いでした。日本画、洋画、美術工芸、書道、写真、陶芸と総出品数二二六点を数えましたが、現在各部門、高齢化を迎え深刻な状況です。

未来に向けて思う事は、若い人の参画。積極的に市民展に参加して頂ける機会を作り増々の桑名の文化的発展に力を貸してもらえ

らと願うばかりです。

最後に、関係者の皆様と一緒に市民展の告知、PRの拡大により一層力を入れ頑張っていく所存でございます。



桑名市文化協会設立30周年記念事業 アンケート結果について

30周年記念事業実行委員長

副会長 西村治生

令和5年9月9・10日に柿安シテイホールで開催しました桑名市文化協会設立30周年記念事業において、来場者の方にアンケートを実施しました。二日間の総来場者数約1,300名の市民の皆様の中から提出いただいたアンケートは130通でしたが、全体のご意見の縮図であると言えます。その中からは、文化協会への関心度や知名度、そして文化協会が抱える課題も見えてきました。またその結

果から市民の皆様への文化協会に対する期待や、桑名の将来の文化について探るきっかけになったのだと思います。

①【参加した感想】

まずは今回のイベントに対する評価です。アンケート提出された「ほぼ全員の皆様から「非常に良い」「良い」との評価を頂きました。この事業を計画するにあたり、文化協会の多くの団体が参加し、今までにない団体間でのコラボ企画を図りました。その甲斐がありました。

②【参加したイベント】
それぞれの会場キャパや定員もありませんが、ステージ以外のお茶会やワークショップにまんべんなく参加者があったことが判ります。

③【年齢】
グラフを見ると60代以上の方が多くですが、私たちとしては美術や文学（俳句）のワークショップに小学生をお連れになったご家族を数多くお見受けしました。

これは「未来へつなごう！桑名の文化」を目標にした私たちの願いが少し叶ったのではと考えます。単発で終わらせずに、これからも念頭に置いて活動していきたいです。

④【今回のイベントを知ったきっかけ】
チラシ・ポスター・桑名市広報などの他に、「口コミや知人から誘われて」が、ほとんどを占めます。

桑名市文化協会懇親会

会員が部門や分野をこえて交流する場として5年ぶりに開催しました。

日時 令和6年3月3日(日)午後5時より
場所 くわなメディアライヴ多目的ホール
懇親会当日の様子は桑名市文化協会のホームページの活動報告をご覧ください。

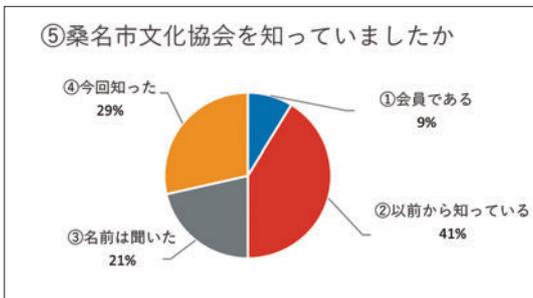
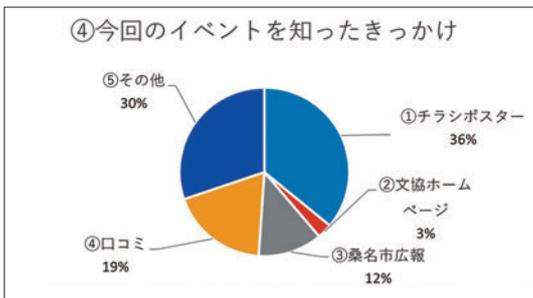
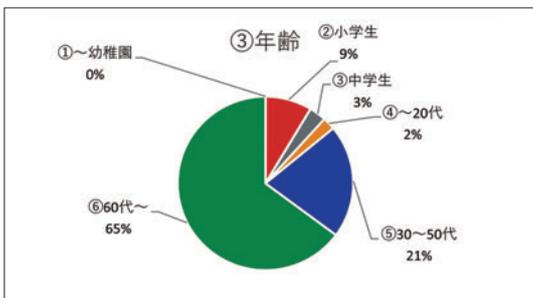
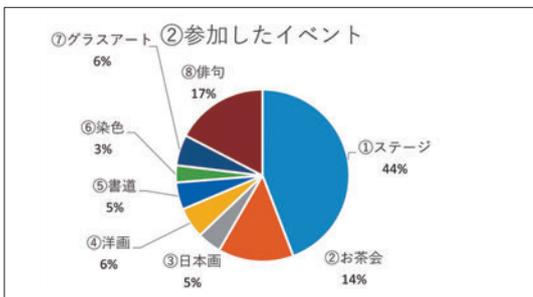
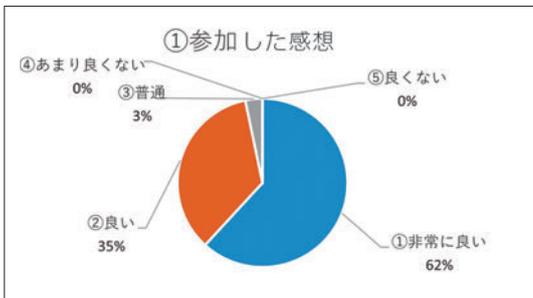
桑名市文化協会HP
<https://bunkyo-kuwana.jp>



文化協会のホームページの知名度が低かったことは、今後の課題であります。会員以外にも発信できるホームページやSNSの活用も検討したいと思えました。

⑤【桑名市文化協会を知っていましたか】
「名前は聞いたことがある」「今回知った」が半数を占めています。我々の狙いである知名度の向上に寄与できただけで評価します。

皆が知恵を出し合って作り上げた事業は、観る人を感動させることが出来ることを今回体験しました。私たちが今後、その感動を市民の皆様へ伝え続けることが出来れば、「未来につなごう！桑名の文化」が実現するのではないのでしょうか。



令和6年度 月釜日程表

開催時間 午前10時～正午、午後1時～午後3時30分

(入場受付は午後3時まで)

開催場所 六華苑 離れ屋
呈茶券 前売券 1,000円

六華苑入苑料込・茶道各流派師範宅・六華苑で販売

当日券 700円

(六華苑入苑料別)

(入苑料：高校生以上460円、中学生150円)

◆最新の情報は、桑名市文化協会ホームページをご確認ください。

◆参加の際は、感染防止対策へのご協力をお願いします。

◆体調のすぐれない方は参加をお控えください。

◆4月20日(土)は「県民の日」記念事業にあわせ入苑料は無料、呈茶券は

700円(六華苑での前売券販売なし)

◆令和7年1月19日(日)は新春六華苑祭と同時開催予定

◆お問合せ 桑名市文化協会事務局

(桑名市ブランド推進課内 TEL 0594・24・1361)

開催日	担当流派
令和6年 4月20日(土)	遠州流茶道
5月19日(日)	茶道裏千家
6月16日(日)	表千家流
9月15日(日)	煎茶松風流
令和7年 1月19日(日)	表千家流
3月16日(日)	茶道裏千家

お問い合わせ

桑名市文化協会事務局
(桑名市ブランド推進課内)

TEL 0594-24-1361

ホームページ

<https://bunkyo-kuwana.jp>



令和6年度 桑名市文化協会 育成補助金募集のお知らせ

桑名市文化協会では、桑名市の芸術文化振興のため、文化協会会員が企画して行う事業に対して、補助金を交付します。令和6年度の育成補助金を申請される方を募集いたします。

○補助対象団体等

文化協会の個人及び団体。ただし、令和6年4月1日をもって、桑名市文化協会に在籍1年以上で、令和4年度・令和5年度に補助を受けていない会員。

○補助金の額

事業企画実施に要する交付対象経費の80%以内の額で30万円を限度とする。

○応募の方法

文化協会事務局から送付された申請書に記入し、同事務局へ提出申請する。書式は文化協会ホームページよりダウンロードすることもできる。

○応募受付期間

令和6年3月1日(金)～

令和6年3月29日(金)

(令和6年4月1日～令和7年3月31日までの実施事業に限る)

※令和2年度募集より桑名市文化協会育成補助金要綱を、令和3年度より運用規定・Q&Aを改定しました。

第32回 定期総会のご案内

〔日時〕令和6年5月12日(日)

午前10時から

(受付は午前9時30分から)

〔会場〕桑名市パブリックセン

ター 大研修室

*各部門から代議員の選出をしていただきます。

令和5年度

新入会員の紹介(敬称略)

(3月1日現在までに入会の会員)

美術部門

土屋 栄美子(個人会員)

美術部門

佐久間 秀美(個人会員)

美術部門

植本 壽華(個人会員)

音楽部門

オカリナはなみずき

芸能I部門

生田流箏曲 音羽会

芸能III部門

ラブリイフラ

文化協会へ新入会員 大歓迎♪

文化活動を行っている団体さん、個人の方、文化事業に興味のある方、一緒に桑名市の文化芸術活動を盛り上げていきませんか？
お問い合わせはお気軽に♪

文協文芸

【文学部門】

詩 〈現代詩やまぶき〉

別れ 岡本妙子

もう電話のベルは鳴らなかつた

うす暗い部屋の中で

トビラを開けるのが遅すぎたから

朝に夕に

かかる電話が過剰で

うっとうしすぎたから

逃げていた

たしかに 逃げた

ある時は ガラスボールの中の

メダカを見つめ

納得のいくラストシーンを

さがし求めた時もあった

時には好きなピアノ曲におぼれ

接触をさぐり続けた

禁じられた遊びの曲が

ようやく終わりに近づく頃

午後の紅茶を飲みほすと

手にした電話のむこうでは

別れのブルースが流れていた

耳を澄ませば

堀川孝子

山に入ると

小鳥のさえずりが聞こえる

流れ落ちる滝のどろろき

大木の枝葉が揺れる 風

木漏れ日が踊る

西の山は暗く鎮まつていた

病院に入ると

泣き止まない赤ちゃんの声

待合室に漂うよどんだ空気

救急車のけたたましいサイレン

川を隔てた病室の窓にも

明かりが灯った

家族がそろった食卓の前で

すさまじい勢いで飛び出した

ミサイル

瓦礫の山を前にして

抱き合った親子の号泣

盛装した人たちが

平和について論じていた

聞いていた音 聞こえていた音

ぼんやり空を見ていたから

聞き逃した言葉 聞き流した言葉



耕したばかりの畑で

はや 草が芽を出している

這い出したミミズが八月の地上で

伸びたり縮んだり 前へ前へ

心静かに 耳を澄ませば

草の声 ミミズの声も

聞こえただろう か

冬の庭

安田治三

オリオンの星の煌めきは

無窮の時空の中へと誘い

隣り合わせの冬の大三角形は

南天に大きく広がっている

翼の生えた僕には

何よりも広いグラウンド

オリオンと遣り合うつもりはない

何処から来たかと尋ねられたら

誇らしげに地球と答えたい

十二神ポセイDONの子は乱暴者

勝負するつもりもない

直ぐにでも友達になって

一緒に大宇宙を飛び回りたい

宇宙はどんな世界よりも

ずっとずっと果てしなく広い

うお座かに座しし座さそり座を

駆け巡り最後に

我が黄道の中へと帰ってきたい

ようやく小さな

庭に降りると

庭園灯が辺りを

満月のように照らしていた

俳句 〈俳句を学ぶ会〉

冬に見る春の星座

竹村一雄

朝刊をとって見上げる麦の星

一月半ば、早朝、新聞を取りに玄関先へ行くと、満点の星空。しかし、星のソムリ工資格をもった自分が何の星かさっぱりわからず、パニック！ついにきたか？そこで落ち着いて星座アプリで確認すると、そうか、春の星々だ。冬に春の星座を見て混乱したのだ。

「麦の星」とは、うしかい座アルクトウルの和名で「麦星」のこと。麦秋の頃に宵空高く赤い色に輝く一等星。

「降る雪や明治は遠くなりけり」(中村草田男)という有名な句がある。しかし、判ったような顔をしていても昭和生まれの自分にはどうもしっくりこない。調べてみたら明治生まれの作者が昭和六年31才の時に作ったもの。そこで、

降る雪や昭和は遠くなりけり

と読み替えてみると、たくさんの想い出が、古希を過ぎた身にしみじみ思い起こされてくる。こんな鑑賞の仕方もあるといいのかな。

春夏秋冬

安田治三

(新年) 初日の出樹々の間に神々と
初春に孫を交えて大雑煮
去年今年歳を重ねて七種の

(春) チュンチュンと鶯に遊ぶ雀の子
残る雪未練あるのか裏庭に
春暑し畔に忘れたセーターか
村里の山は緑に春の風
従兄より八十八夜の茶が届く

(夏) 蝉取りの数えて競う童たち
誰来たる一斉鳴き止む田の蛙
炎天下何処へも行けず老いた我
スター真似車に映るサングラス
藤椅子と一本の杖母はもう

(秋) 天高し老いても消えぬ志
青春の恋に恋して星月夜
渡り鳥また来いよと手を振って
秋深し虫の声聞き一人寝の
望月やうつつに感う我照らす

(冬) うたた寝の葛家の軒に氷柱溶け
雪布団白菜包み人の待つ
霜柱枯れ葉うかせて夜は明ける
年の暮れ老いてもいまだせわしきや
外回り車中ひととき冬ぬくし

短歌

三四郎の遠吠え③

短歌物語

伊藤智之

(個人会員)

「まだ一度もあがってないわ」
ママのぼやきが始まった。テツ
君は笑って点棒を数えている。
我が家の麻雀ゲームの最中だ。

私は柴犬の三四郎。麻雀や歌会
のメンバーである。ゲームを盛り
上げる為空いた席に座っていれば
いいのだが、パパに叱られるので
寝ている訳にはいかない。

ゲームをするようになったのは
この家の娘のミイさんが結婚して
家の中に風穴が開いた様な淋しさ
が漂っていたときにテツ君がリサ
イクルで買い、麻雀でもしようか
と言いつ出したのがきっかけであり
今もテツ君の休みの日に月に数回
行われている。ゲームの途中にパ
パから待たされたかかった。疲れた
とき雑談がしたいとき何時でも中
断できるルールである。何事かと
目をやると、パパはお構いなく呟
き出した。「コロナは、恐怖、不
安、密集、都会、動に静、ぶつ、

ぶつ」パパの呟きは続いている。
短歌の構想の様である。

パパは、何よりも短歌である。

短歌のメモが配られた。

① 幻覚に幻影ともに見えるもの
見えぬコロナに恐れおののく
★パパ・先行きの不安感が私を苦しめる。

☆ママ・歌に理屈が多い。日常詠
でも叙情が欲しい。
☆テツ君・幻覚も幻影も実際には
見えないのでは。

② シャッターの降りたるままの
商店街 燕飛び交うコロナを
避けて

★パパ・コロナは他の動物にはど
うなのか。
☆ママ・コロナ避けるかぐらいで
よいのでは。

☆三四郎・避けるではなくコロナ
を狙いの方が夢があると思う。

③ 闘病とは忘れることか歌を詠
み絵を描きときを過せり
④ 老いてなお拾い集めるうたご
ころ桜迷路を彷徨う我は

⑤ 病院を出づれば外は夕焼けて
前行く妻の影の遠のく

⑥ 左手で右手を支えキイ叩く頭
蓋に残るうたごころ詠む
パパの最新作の提案があったので
宿題として、麻雀ゲームに戻るこ
とにした。

テツ君が何時もの通り勝った。

桑名地名あれこれ(30)

一色・今一色

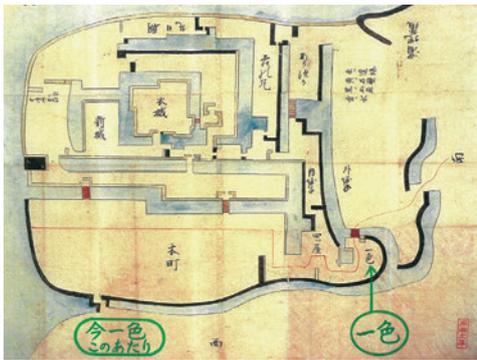
社会文化部門
(個人会員)

大河内 浩

桑名市街に、一色町・今一色と似た名前があることを尋ねられました。両地のつながりは無いかと思われませんが江戸時代中期編纂の久波奈名所図会によると一色町：旧名は色町で遊女屋あり、今一色：南勢度会郡二見郷にある今一色と同じく貝類の名産地、とあつてその後この通説が流布しています。

一方で名所図会には矛盾点もあります。一色町の花街は慶安・承応(一六四八〜五五)の頃から、また中古(江戸時代以前)から定重侯のとき(一六五七〜一七一〇)富田へ移すとあつたりです。確かなことは、江戸時代になると町割り整備で中級藩士の宅地となり、忠勝時代(一六〇一〜一〇)から万治二年(一六五九)までは東一色町東北端に大円寺があり、寺が入江町へ移転跡に明治初年頃まで榎大日尊があつたことです。

今一色についても慶長年中(一五九六〜一六一五)早すでに名ありとか、慶長の初めまでは今一色の名は無くとか、矛盾したような記述が見受けられます。今一色は寛永八年(一六三一)に新田開発、



桑名城図(西尾市岩瀬文庫蔵)簡素な図ではあるが、江戸時代初期で、右下に一色とあり、今一色や赤須賀新田はまだ描かれていない。

家屋建造で、元禄時代(一六八八〜一七〇四)頃には堤原・寺町・今一色・太一丸の四町、明治五年(一八七二)にこの今一色が更に四町に分かれ公称としては消滅、現在ではこのあたりの通称です。寛政(享和(一七八九〜一八〇四)測量絵図で、家が次第に西の方へ延びていく様子がわかります。一般に江戸時代以後開発の新田より古くからの口口一色、新しいという意味合いの今口口を考えると、桑名市街のはずれに続く島が整備された今一色町、更に新しく開発された今一色、と考えることはできないでしょうか。

「賛助いただいたいております
特別会員の皆様 11月1日現在
(五十音順)」

- アートスペース美園様
- 医療法人 桑名病院様
- 医療法人 誠会山崎病院様
- 魚重様
- お菓子処「和」様
- カネソウ株式会社様
- 株式会社 朝日鑄工所様
- 株式会社 歌行燈様
- 株式会社 グランビル様
- 株式会社 山水園様
- 株式会社 18banchi様
- 株式会社 水谷精機工作所様
- 株式会社 レイ・ステージ桑名様
- 木村洋子様
- Green Beatrice Co. Ltd.様
- 桑名シテイホテル様
- 桑名三重信用金庫様
- 在日本大韓民国国民三重県桑名支部様
- 茶道裏千家 丹羽宗俊様
- 中央不動産株式会社様
- 兎月堂様
- 花江場中店様
- 花乃江中店様
- 光精工株式会社様
- ヒルカワ金属株式会社様
- 三重精機株式会社様
- 森田フードシステム株式会社様
- 有限会社 大発商様
- 有限会社 茶茂会様
- 有限会社 丁子屋様

日頃よりご協力いただき、深くお礼申し上げます。

編集後記

令和六年穏やかな新年の幕開けと思いきや、一転最悪の幕開けとなりました。お正月に久しぶりにふるさとで、家族との楽しいひと時であったことでしょう。

能登半島地震で被災された皆様の一日も早い復興と元の生活が送られることを願わずにいられません。さて、私たちの一大イベントである、文化協会設立30周年記念事業・秋の桑名市民芸術文化祭は参加者一同が心を一つにして、頑張りそれが報われやうと、内心ほっとさされているのではないのでしょうか。日本の伝統芸能から新しい芸能と幅広く活動されている皆さんの生きいきとした姿を拝見していますとお互い助け合いながら活動していく事のすばらしさを実感しました。これからもより多くの皆様から愛される文化祭として盛り上げていくよう頑張りましょう。明るく・楽しく・元氣よく、活動をしていきましょう。(村田道昭)

- 広報担当副会長 安田 治三
- 広報担当副会長 岡本 早苗
- 委員文学部門 竹村 一雄
- 美術部門 土屋栄美子
- 音楽部門 水谷 直美
- 芸能I部門 杉野さおり
- 芸能II部門 村田 道昭
- 芸能III部門 堀田佳世子
- 演劇部門 相原 千景
- 茶華香道部門 大嶋 敬子
- 社会文化部門 大河内 浩
- 趣味教養部門 加藤 誠